

# Tグループ〔人間関係トレーニング〕

## -深いかかわりから学ぶ-

日本の各地から集まったさまざまな人々と 八ヶ岳を目の前に仰ぐ清里の豊かな自然は あなたが、人と人との関わりを探究するのを 豊かにさ  
さえてくれるでしょう。

- 本当の自分自身でいられることの深い充足感
- 人と人が関わるプロセスの変化に富んだ姿
- 対話の中で人の心に触れた瞬間の感動
- 深いところで自己と対面した驚き
- ズッシリとした学びの手応え

担当者	グラバア 俊子（南山大学人文学部心理人間学科教授） 中村 和彦（南山大学人文学部心理人間学科助教授） 山口 真人（南山大学人文学部心理人間学科教授） 中堀 仁四郎（八王子北教会牧師）
概要	<p>人間関係の体験学習の中でも、特に密度の濃い体験のできるトレーニングが「Tグループ」と呼ばれる集中的集団体験です。ベシック・エンカウンターグループとともにグループアプローチと総称されているもので、通常一週間程度の合宿形式で行われます。クライアント中心療法で有名なカール・ロジャースはグループアプローチを20世紀最大の社会的発明と賞賛したほどです。</p> <p>10名程度が1グループになって、自由な雰囲気の中で対話を続けていくと、自己理解や他者理解、受容や共感、コミュニケーションやグループプロセス、傾聴や相互援助関係、など様々な現象が起こります。その時その時に起こっている人間関係や自分や他者のありようについて、気づいたことや感じたことをお互いにフィードバックすることによって、生の人間関係を学ぶことが可能になるのです。</p> <p>たっぷり時間をかけて、自らの気づきを中心に学んでいきますので、講義や短時間の実習などでは得られない深く豊かな気づきや学びが生まれます。</p> <p>Tグループとは、Training Groupの略であり、人間関係トレーニングの原点かつ源であるトレーニング方法です。具体的には、メンバー7～10人とスタッフ2人が1つのグループを組み、同じグループで1週間を過ごしていく中で生じる人間関係自体を題材にしなが、ともに学びともに成長することに取り組むトレーニングです。</p> <p>歴史：Tグループの始まりは1946年、グループダイナミクス研究者として有名なK. レヴィンを中心とした研究者たちが開いたワークショップでした。その後、アメリカ合衆国N T L（National Training Laboratory）でTグループが継続的に開催され、現在でも核（コア）プログラムとして実施されています（Human Interaction Laboratoryという名称で実施）。</p> <p>日本には、1950年代後半、立教大学キリスト教教育研究所によるワークショップで初めて実施されました。南山大学人間関係研究センターでは、Tグループ本来の発想である「人間尊重」をベースとしたグループアプローチとして、前身である南山短期大学人間関係科時代から通算30年あまり、このTグループを実施し続けています。</p> <p>他のトレーニングとの違い： Tグループは、合宿制で行う集中型のトレーニングです。したがって、自分自身のあり方、対人関係の持ち方、グループダイナミクスについてなど、非常に深く学ぶことができます。6日間という長いプログラムで実施するため、他のメンバーとも深い関わりができ、そこから深い気づきを得ることができます。また、ふりかえりの時間も充分持つことができます。</p>
日程	2007年2月17日（土）～ 22日（木） フォローアップ：2007年6月18日（日）10：00～16：00〔南山大学D棟にて〕
定員	20名
会場	（財）KEEP協会・清泉寮 〒407-0301 山梨県北斗市高根町清里3545 Tel (0551) 48-2111
参加費	研修費 73,500円 滞在費は実費（60,000円程度）を別途徴収させていただきます。
講座報告 （アンケートより）	・“今ここで”“今この瞬間”“今この関係”を体感できた。 ・大きな気づきを得ました。これだけインパクトを受けた研修体験は初めてです。